



さかた

令和4年8月1日

市議会だより

第72号



「新山延年舞」(山形県指定無形民俗文化財)

6月定例会

**新型コロナウイルスワクチン4回目の
接種体制確保事業、国のコロナ禍にお
ける原油価格・物価高騰等総合緊急対
策などによる補正予算を可決**

ホームページはこちらから

酒田市議会

検索



目次

議会改革	P2～3
4月臨時会の概要、委員会審査、 6月定例会の概要、代表質疑、委員会審査	P4～5
一般質問/18人が登壇	P6～12
議会活動日誌・政務活動費の報告	P12
4月臨時会・6月定例会審議結果一覧、 請願・意見書審査結果一覧	P13
9月定例会の開催予定、傍聴案内、編集後記	P14

議 会 改 革

5月13日に議会改革全員研修会を開催しました。1月に続き、今回二回目の研修会では、前半は市執行部への政策提言の手法や全国的事例の解説、後半は市職員を市民に見立てての模擬意見交換会として、市民と議会の対話による政策提言につなげる手法を体験しました。

講師を務める青森大学教授で早稲田大学マニユフェスト研究所招聘研究員の佐藤淳氏からは「市議会は『市政の監視と評価』と『政策立案と政策提言』の二つの役割が求められている。目指すは二刀流。しかし、多くの議会では政策提言が不十分である。酒田市議会でもっと市長に対して政策提言書を出していくべき」としました。

研修会に先立ち、講師の佐藤氏を「議会改革推進アドバイザー」に委嘱し、今後とも議会改革に関するアドバイスを受けていくこととしました。

6月10日には、タブレット端末でのウェブ会議ツールZoom（ズーム）を活用した「ICT（情報通信技術）を活用した議会の新しい姿」と題してオンライン研修会を実施しました。Zoom（ズーム）初体験の議員もいましたが、「習うより慣れよ」で活用にごたえを感じる場となりました。



委嘱状授与



模擬意見交換会

管内視察報告

総務常任委員会

委員長 池田 博夫 議員

国史跡指定後の山居倉庫の状況

※山居倉庫は、創業当時以来の建物や景観が良好に残っており、我が国の近現代の米穀流通の歴史および庄内地域の米作の歴史を知る上で貴重な文化財として令和3年3月26日に国史跡に指定されました。これから「山居倉庫保存活用計画」を策定するにあたり、山居倉庫の保存・活用における現状と課題を把握するため現地視察を行いました。

倉庫12棟の構造の主な特徴として、垂れ木の本数や柱の形状など年代による違いや明治27年の庄内地震により耐震性を意識した造りとなっていることが挙げられます。また、事務所棟、東宮殿下行啓記念研究室などの構成文化財は、歴史・構造的価値を確認できました。一方で、それらの活用における課題や活用方法の検討の必要性も認識しました。

今後は、建造物などの修繕、耐震性に関する整備・対策、持続可能な観光への活用、ケヤキの樹勢回復措置、付加および整備される※便益施設の修景への配慮を着実に進めることが重要です。酒田商業高校跡地整備事業とも連携することにより、大いに相乗効果が生み出され、後世に確実に引き継がれることが期待されます。



※山居倉庫…明治26年に酒田米穀取引所の付属倉庫として建設。現在も米穀保管倉庫として使用されている。
※便益施設…トイレ、看板・サイン、バリアフリー設備など

委員会所管事項調査

民生常任委員会

委員長 江口 暢子 議員

「空き家対策」～住み続けたい、
住みたいまちのために～
「切れ目のない子育て支援」
～成長に合わせた支援、
誰も取り残さない支援～

当委員会では、重点的に検討していくテーマを決めて、議員間討議（対話）を継続的に行うとともに、市民、団体との意見交換会を通して市執行部に対しての政策提言を行っていきます。

空き家対策については、市担当課より現状、利用可能な制度などヒアリングを行い、その後、議員間での議員間討議（対話）を行いました。

切れ目のない子育て支援については、東北公益文科大学教授の澤邊みさ子氏をお招きして研修会を行いました。こうした研修会を踏まえ、現在の市施策に関しての各議員の意見を出し合い、委員会の活動の進め方について議論を行いました。

今後は、テーマに関して深めていくために、市執行部へのヒアリングや意見交換、先進事例の調査や他自治体への視察、またオンラインを活用した視察も含めて取り組んでまいります。



行政視察報告

建設経済常任委員会

委員長 安藤 浩夫 議員

洋上風力発電先進地の現状（秋田県秋田市、同能代市）
生花事業者による農福連携の取り組み（秋田県能代市）
産地化を目指す転作たまねぎ圃場（秋田県大潟村）

当委員会では再生可能エネルギーの活用をテーマに掲げ、酒田沖での洋上風力発電の検討が進む中、先進地である秋田港・能代港の視察を行いました。基地港湾・風車建設現場見学のほか、各区域の洋上風力発電事業者と地元への経済対策、地域振興策、環境保護対策、事業者からの要望など意見交換を行いました。また秋田県漁協では、現状と合意形成に向けた今後の展開などの意見交換ができました。

もう一つのテーマである農福連携では、能代市の生花事業者が運営する門松用松の栽培圃場視察を行いました。労働力確保のためシルバー人材センターを活用しており、今年から本市に試験圃場を設置し、本市の同センターで雇用を始めています。砂丘地の栽培品目として収益性や雇用面からも有望とみられ、今後を注目していきます。

大潟村では、転作品目としてたまねぎを作付する栽培圃場の視察を行いました。大産地の端境期を狙い、現在40ヘクタール作付しており、目標を100ヘクタールに拡大して産地化を目指している状況を確認できました。

これらを踏まえ議員間討議を行い、積極的に政策提言していきます。



据付予定の風車タワー（秋田港）

◆4月臨時会◆

令和4年4月27日
会議期間1日間

4月臨時会の議案等

●市長提出案件……………6件

令和4年度一般会計補正予算(第2号)をはじめ、右記議案等を審議しました。
議案は、総務・民生常任委員会、予算特別委員会の審査を経て本会議で採決が行われた結果、すべて可決・承認されました。

常任委員会

総務・民生常任委員会を開催し、議案4件を審査しました。

総務常任委員会

報第4号専決事項の報告について(酒田市税条例の一部改正)、報第5号専決事項の報告について(酒田市都市計画税条例の一部改正)および議第45号物品の取得について(庁

◆6月定例会◆

令和4年6月3日～6月16日
会議期間14日間

6月定例会の議案等

●市長提出議案……………18件

●請願・陳情……………1件

●議員提出案件……………1件

●その他……………1件

令和4年度一般会計補正予算(第3号)をはじめ、右記議案等を審議しました。
議案は、各委員会の審査、議論を経て本会議で採決が行われた結果、すべて可決されました。
請願1件は採択となりました。

代 表

質 疑

市長提出議案に対する質疑では、6月7日に各党派等の代表1人が行いました。質疑と答弁の要旨は次のとおりです。

常任委員会

6月8日に各常任委員会を開催し、議案12件と請願1件を審査しました。

総務常任委員会

議第47号酒田市税条例等の一部改正についてのほか、議第48号、49号、54号および55号の議案5件を審査しました。

審査の結果、議案はいずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決・承認すべきものと決定しました。

民生常任委員会

議第50号酒田市介護保険条例の一部改正についてのほか、議第51号および52号の議案3件を審査しました。

審査の結果、議案はいずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

建設経済常任委員会

議第53号酒田市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正についてのほか、議第56号、57号および58号の議案4件を

内ネットワーク設備機器)の議案3件を審査しました。

審査の結果、議案はいずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決・承認すべきものと決定しました。

民生常任委員会

議第44号酒田市国民健康保険税条例の一部改正についての議案1件を審査しました。

審査の結果、原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

予算特別委員会

議第43号令和4年度酒田市一般会計補正予算(第2号)を審査しました。

今回の補正は、国の方針による生活困窮者自立支援金支給事業経費の増額、新型コロナウイルススワクチンの4回目接種に係る準備経費および旧鳥海高原牧場畜舎等の解体撤去費用の計上が主なものでした。

審査の結果、原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

共産党
市議会



市原 栄子
市議員



小・中学校給食事業補助額の算定 および補助の継続

問 食料費などの高騰により、国の支出金を活用した給食食料費の増額補正が生まれ、補助額は、小学校給食で1食20円、中学校給食で25円となっている。この補助額の算定根拠とこの金額で来年3月まで遜色ない給食の提供が可能か伺う。今後さらに食料費が高騰した場合に、追加の予算編成を行う考えはあるか。食料費の高騰が続く場合は、国の補正が無い場合でも給食食料費増額による補助を続けるべきと考えるが、所見を伺う。

答 **教育長** 補助額は、国の商品価格動向調査をもとに算定している。本市の学校給食では、できる限り地元産食材を使用した献立づくりを進めているため、算定の基準とした価格上昇率を全国よりも高い8%と見込み、小学校給食費1食260円、中学校給食費1食305円にこの8%を乗じた金額とした。給食の提供を安定して継続することが可能と見込んだ今回の補正予算で収まるよう努力したい。給食経費は、学校給食法により市の負担・保護者負担が規定されており、基本的には給食費の改定によるべきではないかと考える。

審査しました。

審査の結果、議案はいずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

請願第1号令和4年度水田活用の直接支払交付金の見直しに関する請願については、全会一致で採択すべきものと決定しました。

予算特別委員会

6月9日に議第46号令和4年度酒田市一般会計補正予算(第3号)の議案1件を審査しました。

今回の補正は、新型コロナウイルススワクチンの4回目接種体制の確保および接種の実施に伴う経費の計上などが主なものでした。

審査の結果、原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

議員提出案件(意見書)

6月13日に議会第4号令和4年度水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書について委員会付託を省略し、本会議で審議しました。

審査の結果、原案のとおり全会一致で可決しました。

一

般

質

問

6月14日～16日に計18人が質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

タブレット端末などの使用時間の制限や目安は



佐藤 弘
議員

問 タブレット端末などの使用で心配なのは長時間画面を見ることである。専門家や学会では「すべてのメディアやICTへ接触する総時間を一日2時間までに制限する」としている。文部科学省は、家庭の使用状況も異なるため利用時間は示していないが、目安の時間を設定している教育委員会もある。子どもの目や心身への影響を考えると、学校だけではなく、家庭も含めた使用時間の制限やある程度の目安は必要と思う。所見を伺う。

答 教育次長 本市では、国の資料などをもとに作成した冊子「タブレットPCの使い方」により活用方法や心身の健康を保つ指導をしており、1時間の使用につき10分間休憩をとることを示している。本市の児童生徒が使用するタブレット端末には、動画サイトの閲覧制限やフィルタリング設定をして過度な使用を制限している。タブレット端末の持ち帰りに関して家庭で気をつけて欲しいことなどは、各学校にお知らせして注意を促している。今後、時間の目安を一律に示すことが良いのかどうか、示している学校の情報収集をしながら検討したい。

他の質問

育ちのサポート事業の見直し



酒田市立資料館の在り方



後藤 泉
議員

問 移転した酒田市立中央図書館跡は、文化資料館（仮称）として、現在の資料館などの収蔵品や資料を移転・展示していく計画で、空き施設となる資料館は倉庫として利用することであった。しかし、あの堅牢な建物は大通り公園の一角のシンボリック存在で、有効に活用すべきと考えるが倉庫利用は決定事項なのか伺う。また酒田大火や本市を襲った地震、津波など災害や防災に特化したミュージアムとして伝承していくべきではないか。

答 市長 現在の資料館が令和6年度に移転した後の跡地利用は、昨年立ち上げた民間提案制度の活用も視野に入れ、民間への売却、まちづくり・地域活性化につながる利活用、公共団体等に対する公共の用への利用処分の優先などの原則に基づき検討していきたい。資料館はシンボリックな建物であり、倉庫利用以外で利活用の意見もあると理解している。倉庫利用は、最終決定事項ではなく、市民理解を得ながら、活用方法を決めていきたい。現在、山居倉庫の利活用計画も検討しており、あれだけの倉庫棟数があれば、資料館の収蔵資料の展示などの活用も考えられる。

他の質問

生物多様性地域戦略の策定、鳥海山のスノーモービル乗り入れ規制



子どもたちの食育活動と学校給食



江口 暢子
議員

問 第4次酒田市食育・地産地消推進計画が策定された。子どもたちが農業体験できる食育交流活動への補助金の交付額・交付方法が変更する中で、どのようによりよい食育活動を進めていくのか伺う。

答 農林水産部長 現状の食育活動の課題は、活動する農家や保育園などの固定化と認識している。今後、どのように保育園などの活動を横に展開していけるかを考え、活動への補助金交付要綱の見直しを行った。引き続き、しっかりと説明しながら実施していきたい。

問 新型コロナウイルス感染症拡大によって、休業となった際に生じる学校給食における未利用食品の発生状況とその対応はどうであったか伺う。

答 教育次長 臨時休業の際は、キャンセルできない食材は買い取りとなる。買い取りした食材のうち日持ちがするものは、後日の給食で提供する。あまり日持ちがしない生鮮食品などは、仕入価格を割り込まない価格で学校・市職員に買い取り協力を求め、廃棄することなく、やむなく歳出があつた分の補てんとなるための収入を確保している。

他の質問

食材費・燃料費等の高騰による学校給食への影響は



市民への熱中症対策をどのように考えるか



市原 栄子
議員

問 今年は猛暑になるといわれ、国も熱中症対策にエアコンの活用を言っている。しかし、原油高により電気料金は上昇しており、さらに食品など的高騰も重なり、市民の暮らしを圧迫している。こうした状況下で、熱中症の予防にエアコンの活用をアナウンスしても、生活防衛のために冷房を使わないことによる熱中症の増加が懸念される。冬には灯油等補助があつたが、冷房などの電気代に対する支援が必要ではないか。また冷房機器購入への助成は考えられないか伺う。

答 副市長 光熱費を含む物価高騰の影響を受ける世帯に対し、国の給付金以外の支援策について今議会で補正予算の議決をいただきたい。これまで実施した冬の灯油等購入費助成は、県補助金を活用したもので、こういった県補助金などの財源がなければ、市単独での冷房光熱費助成は考えていない。冷房機器設置助成は、財政負担の観点から市独自で実施する考えはない。熱中症対策は、全国的な課題であり、国の計画などでは国が主導して取り組むと記載されている。引き続き、国の動向を注視していく。

他の質問

豊里十里塚線の4車線化に伴う中央分離帯の設置への対応は



プラスチック資源循環促進法に基づいた取り組みを



斎藤 周
議員

問 今回の新法では「市町村は、区域内におけるプラスチック使用製品廃棄物の分別収集及び分別収集物の再商品化に必要な処置を講ずるよう努めなければならない」と努力義務ではあるが規定されている。また、市町村がプラスチック使用製品廃棄物を排出するものが遵守すべき分別の基準を策定すると規定され、排出する住民は適正に分別して排出しなければならぬとしている。そこで、新法に基づいた取り組みの考えはないか伺う。

答 市民部長 まずは、市民にこれまで行ってきた廃棄物の分別収集の徹底とプラスチックの使用、排出の抑制の周知を促進することが重要と考える。酒田地区広域行政組合のごみ焼却炉は、流動床式ガス化熔融方式を採用しており、焼却熱を利用した蒸気で発電を行っている。ペットボトルを除くプラスチック類はサーマルリサイクル（熱回収）として資源化されているが、プラスチック資源循環促進法による努力義務を果たしていくためには、ごみ処理施設の運用計画、リサイクル施設の整備計画と中間処理方法を含め、分別収集方法を検討していく必要がある。

他の質問

定期船とびしまの運航にAIを活用するか



岸洋子記念館の設立を



富樫 寛
議員

問 岸洋子さんは2度の日本レコード大賞歌唱賞の受賞やNHK紅白歌合戦に7回出場、代表曲である「希望」は昭和46年の選抜高校野球大会の入場行進曲にも選ばれた。シャンソン歌手として輝かしい実績があり、いまだに全国に多くのファンがいる岸洋子さんは郷土が生んだ偉人、誇りであり、文化芸術における本市の宝である。文化芸術交流人口推進のひとつとして岸洋子記念館を設立することを提案するものであるが所見を伺う。

答 教育長 故岸洋子氏は、本市出身の偉大なシャンソン歌手であり、本市の誇りである。酒田市民会館の愛称「希望ホール」は、代表曲「希望」にちなんだものというのが理由の一つとされ、ホールの1階ロビーには、同氏が使用したピアノや楽譜などを展示している。また酒田市立資料館には、貴重な資料を数多く保存しており、令和2年の企画展にも多くの方々から来館いただいた。現在、記念館設立は考えていないが、今後も市民とともに、業績を語り継いでいきたい。

答 市長 残すべき施設の活用の中で、選択肢として記念館的なものも考えられる。

他の質問

本市のいじめ重大事態への対応



地域防災の充実と消防団員確保対策



後藤 啓
議員

問 消防団の役割が増大し、地域の期待が高まる中、団員の高齢化、若手団員の確保が課題である。本市消防団員数および充足率は。

答 危機管理監 本年4月1日現在の団員数は1668人、定数は定期的に見直しを進め、充足率は9割前後で推移している。

問 団員報酬見直しと県内自治体の状況は。

答 危機管理監 本市は総務省消防庁が示した標準額を大きく下回る。県内35市町村で年額報酬を引き上げたのが13市町村、本市においては財源など課題を整理し検討していく。

問 消火技術の維持向上の対策、地域の防災訓練などの中止に伴う消防団員が連携した効果的な訓練の実施状況は。

答 危機管理監 若手団員の技術習得のため基礎研修会を支団や分団単位で行っている。

問 消防団員の意向・意識調査の実施は。

答 危機管理監 現役団員全員を対象とした意識調査は実施していない。分団ごとの意見として、消防操法大会に向けた早朝や夜遅くの訓練が負担となり、一定の年齢になると退団につながるなど意見があり、今後の団員確保に向け参考としていく。

他の質問

消防水利の整備、防災士養成への対応



小学校プールの外部委託による考えは



齋藤 直
議員

問 近年、他の自治体では児童数の減少とプールの維持管理コスト削減、熱中症対策、そして教員の負担軽減としてプール授業の外部委託を進めているところもある。外部委託のメリットとしては、水質や水温が適切な屋内プールで夏期間のみならず冬期間も学習でき、衛生面や専門的な指導者の元での学習で泳力が身につくなど、子どもたちが授業を休むことがなくなったとの事例を聞いている。来年度以降、モデルケースとして外部委託による授業を何校か実施して検証すべきと考えが所見を伺う。

答 教育次長 外部委託は非常にメリットが大きく、さまざまな効果がある。一方で、デメリットは、授業会場までの移動にかかる時間などが懸念される。メリット、デメリットを踏まえ、保護者の理解も合わせて総合的に判断する必要がある。モデル事業は、令和4年度での実施を検討したが、既存のプールが使用可能であり、ランニングコストのみの比較では大幅に経費増が想定され見送った。今後は、学校施設の改築が必要になった時点で、プールの在り方についても検討していきたい。

他の質問

安全・安心の公園管理とインクルーシブ公園の考えは



男性トイレの サニタリーボックス を設置を



遠田 敏子
議員

問 2人に1人が、がんや診断される時代になっている。ぼうこうがんや前立腺がんの手術後は、排尿のコントロールが難しくなり、尿漏れパットを使用されている方が一定数いる。しかし、男性用トイレには汚物入れの設置がされていない。処理に困っている方のためにも本市がモデルとなり、設置することでお手になるのは一定数であっても、誰も取り残さないという*SDGsの理念にもつながる支援と考えるが、本市の所見を伺う。

答 総務部長 多くはないが、全国の自治体、民間企業でも男性用トイレにサニタリーボックスを設置している。本市としては現在、多目的トイレにはサニタリーボックスが設置されているため、まずこちらに誘導していくように考えている。また、本庁舎の1階の男子トイレにサニタリーボックスを試験的に設置し、一定の表示によって、いろいろな意見や利用状況の把握を図っていききたい。その状況によって、設置する施設を拡大していくかどうかを検討していききたい。

*SDGs…持続可能な開発目標。国連サミットで採択された17のゴールで構成される。

他の質問

日本語教育の充実、
リトルベビーハンドブック



中学校の 運動部活動



松本 国博
議員

問 スポーツ庁からの新たなガイドラインにより、休日の部活動の段階的な地域移行など運動部活動改革が進められることとなった。しかし、部活動の大前提である「学校教育の一環」との位置づけ、多様な生徒が活躍できる場である部活動での人間形成や出来事に対する個人の評価に加味される機会が失われるのではと危惧している。今後、教育と地域の指導者との連携をどのようにしていくのか。また、地域移行の進め方について伺う。

答 教育長 各部活動の外部指導者、部活動指導員、顧問の先生、保護者の代表が集まり、活動の共通理解を図る情報交換を行い、子どもたちに関わる大人たちが同じ指導理念を共有し育てていく。スポーツに限らず、運動・文化の放課後および休日の活動に対して、どういったものが提供できるのかを考えていく。

問 4年が経過した部活動指導員の総括は。

答 教育次長 部活動指導員が1つの部だけ専門的に見るのではなく、いろんな部を併せて見ながら、安全管理の部分にも寄与することができないか検討していききたい。

他の質問

河川敷のアウトドアエリア、
希望ホールへ人気アーティスト
誘致



働く場の確保



伊藤 欣哉
議員

問 若者が本市に定着していくためには、若者に魅力ある働く場の確保が重要と考える。若者が望む仕事について、どう把握し、どのように働く場の確保に取り組んでいるか伺う。

答 市長 本市では、賃金水準の高い製造業を中心に企業誘致を進めてきた一方で、オフィスワークが主となる*BPO、コールセンターの誘致も行なっている。高校卒業後、県外に就職する人材や大学などに進学後、県外に流出する人材をいかに本市に就職してもらうかが重要であり、若者の希望に沿った働く場を確保することやそうした働く場を酒田につくりPRしていくことが課題である。

問 本市工業団地も順調な企業誘致により、残りわずかな状況だが、新たな有力企業が現れた場合は、どのようにして誘致へ結び付けていくのか伺う。

答 地域創生部長 短期的にすぐに入りたいという方に対しては、民間の用地あわせん、中長期的には、民間の声が集まれば一定程度の精度の高い開発計画が組めると考えているため、少し踏み込んで事業者と相談し進められればと考えている。

他の質問

若者に選ばれる地域づくり、
日本一女性が働きやすいまち



*BPO：ビジネス・プロセス・アウトソーシング
企業の業務工程を一括して外部に委託すること。

本市の部活動の 地域移行に向けた 取り組み



大壁 洋平
議員

問 運動部活動の地域移行に関する検討会からスポーツ庁に向けて令和5年度から令和7年度までの3年間をめどに、段階的に地域移行するよう提言された。本市としても部活動の地域移行が進められていくと思うが、どのように取り組む予定をしているか所見を伺う。

答 教育次長 体育協会（現スポーツ協会）と打ち合わせを始め、その後、協会に参加されている関係者から、当方の課題意識とその実現に向けた可能性を伺い、意見もいただいている。地域により状況は異なるが、これから進めていければと考えている。

問 地域移行は、教育委員会・学校・地域だけでなく、学校や保護者に対してもアンケートやワールドカフェなどを行い、地域全体で考えていく問題であると考えているが所見を伺う。

答 教育次長 関係団体と協議を進め、保護者はもちろん、一番大事なのは子どもたちであるため、アンケートを実施する準備を進めている。いただいた意見を基に、本市としてどのように進めるか考えていきたい。

他の質問

酒田市スポーツ推進計画の
途中評価、途中評価をして
わかった課題



日本海ヘルスケア ネットへの本市の 取り組みと課題



齋藤 美昭
議員

問 日本海ヘルスケアネット（以下、日本海HCN）は、地域医療連携推進法人として、山形県・酒田市病院機構が運営する日本海総合病院が中心となり、地域の医療法人、社会福祉法人、地区の医師会、歯科医師会および薬剤師会の三師会など9法人で平成30年4月に設立した。その活動は、全国でも高く評価されている。今後の持続可能な医療・介護・福祉に向け、地域包括ケアシステムの推進など日本海HCNとの連携は重要と考えるが、本市の取り組みと課題について伺う。

答 市長 日本海HCNの取り組みが、今後この地域にあつてはますます重要になってくる。また本市の医療・介護・福祉の提供体制を確保するとともに、地域包括ケアシステムを推進するには、この日本海HCNとの一層の連携強化が欠かせないものである。そのため、現在加入されている各法人から賛同が得られれば、本市も行政として日本海HCNの一員として加入し、この日本海HCNの目指す目的の実現に向け、これは地域の目的、目標でもあるため、共に取り組んでいきたいと考えている。

他の質問

会計年度任用職員制度、
酒田市職員数適正化方針



民生委員・児童委員 の現状とこれか らの活動は



安藤 浩夫
議員

問 今年は民生委員・児童委員の改選の年にあたる。高齢者の孤立や詐欺被害の防止、不登校への対応など職務が急増する中、民生委員のなり手不足が深刻化している。本市においても19名の欠員がでており、空白地域がある状況で、職務の負担軽減、情報の共有化および新たなネットワークづくりなど、なり手不足対策が必要と考えるが所見を伺う。

答 健康福祉部長 援助を必要とする人が福祉サービスを適切に利用できるよう適用範囲を定めて、独り暮らし高齢者や要介護世帯など民生委員との情報の共有化に努めている。民間事業者や酒田市社会福祉協議会、各地域包括支援センターと協力し合い、効果的な連携促進を図るとともに、市の相談窓口体制の充実に努め、民生委員がより活動しやすくなるようさらに環境整備を図っていく。

問 経験、安心感など同じ方から民生委員を継続していただくことが大事であり、活動費の見直しについても伺う。

答 健康福祉部長 現在の活動費の在り方が、支給額をはじめ、委員活動を補えるだけのものであるか、今後十分検討していきたい。

他の質問

選挙における投票所運営は



持続可能な農業への考え



佐藤 喜紀
議員

問 世界的な食糧不足と円安による輸入価格の高騰により、食料品の値上がり相次いでいる。企業が原材料費や物流費の上昇分を価格転嫁できるのに対し、国産の農畜産物は、価格に生産資材の高騰分をほとんど転嫁できず、農業者は大変厳しい経営状況にある。国および県は「エネルギー価格高騰への対応」とした支援策を実施しているが、本市としても国および県の支援策に注視し、簡素な手続きで行える支援策に取り組むべきと考えるが所見を伺う。

答 農林水産部長 国では新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、県では農林水産業に対する支援の6月補正が県議会にかけられており、交付金を活用した支援策なども検討されている状況である。本市としては、それらの支援も活用しながら、農業経営が支障なく継続できるための支援策を検討していきたい。国の方針や県の補正予算のほか状況などもしっかりと注視しながら、いわゆる肥料高騰などの対策については、機会を捉えて国や県にもしっかりと働きかけていきたい。

他の質問

人・農地プランの推進、半農半Xへの支援



生徒数が激減する中学校部活動の活性化



後藤 仁
議員

問 生徒の数の減少により、野球やサッカーなどの団体競技は1つの中学校ではチームが組めない。また、水泳、スキー、体操など学校以外で活動する部活動もある。土曜・日曜・祝日の地域移行に向けて、子どもたちが自分のやりたいことを自由に行なえる環境をどう作っていくか所見を伺う。

答 教育次長 地域の受け皿となる持続可能な運営組織の確保など、さまざまな課題がある。地域の関係者や保護者の理解を得なければ地域移行を進めていくことはできない。情報交換、共有を進めながら、可能なところから、少しずつ地域移行を進めていきたい。

問 今後12年で1学年の人数が現在の800人から500人になる。部活動の多様性も進むと考える。中学校単位から本市全体の仕組みづくりとこれまで以上に指導者育成が急務と考えるがどうか。

答 教育次長 種目の多様化はどんどん進んでいる。指導者の養成、研修も非常に重要な要素であり、中長期的な展望として、生涯スポーツと競技スポーツの両面の視点を持って進めていかなければならないと考える。

他の質問

「さくらをてんぐ栗病から守ろう」



北前船の見える化を



市村 浩一
議員

問 現在、自治体間でもブランド競争が非常に激化している。全国各地で「北前船遺産」が消えていく中、北前船遺産が多く残る本市としても、古文書や船絵馬、石造物などを保全公開し、案内板や解説、ジオラマ化やモニユメント化を図り、ストーリー性のある「北前船の見える化」を実施し、酒田のブランドとしてまちづくりに活かすべきではないか。所見を伺う。

答 教育次長 船主などが各神社に奉納した船絵馬は、近年、神社の管理などが適切に行われていないところも出てきており、船絵馬の劣化や紛失などが心配されている。船絵馬は、江戸期の酒田港や日本海海運の様子を知る上で大変貴重な資料であり、今年度から船絵馬の現状確認調査を始め、歴史的な史料の価値が高いと確認されたものは、所有者の同意をいただいたものから、市の文化財に指定し保護していきたい。また、北前船の見える化は、船絵馬以外の石造物や古文書、それから資料館の所蔵資料の北前船関係資料のリスト化を進めて、光丘文庫デジタルアーカイブなどでの公開について検討していきたい。

他の質問

文化資料館（仮称）、希望ホールのイベント



マイナンバーカードの普及促進



問 政府は、マイナンバーカードの健康保険証利用を普及させて、将来的に健康保険証の原則廃止やさまざまな金融カードとの連携も視野に入れていく。今回の臨時交付金には、そのためのマイナポイントの上乗せなどの事業が認められている。現在「マイナポイント取得及び2万円のチャージ又はお買い物（最大5千円分）」の施策を実施。6月30日からは「マイナンバーカードの健康保険証としての申し込み（7千5百円分）」、「公金受取口座の登録（7千5百円分）」を実施する予定である。直近の交付率への認識を伺う。

答 **市長** 県内13市の中では交付率トップを維持しているが、交付率の向上については対応をしっかりとしていかなければならない。平日市役所に来られない方のため、毎月第二日曜日の午前中の窓口開設、出張申請窓口の回数や行き先を増やすなど、交通手段がない方、身体的な事情があつて来られない方に対しても、申請機会の提供に努めている。今後、取得に向けた第二弾の本市独自の誘導策も検討し、交付率のアップに努めていきたい。

他の質問

酒田市空き家等対策計画、改正所有者不明土地特別措置法



Diary 議会活動日誌

4月

- 8日 議会報編集委員会
総務常任委員勉強会
- 15日 全議員勉強会
- 18日 議会報編集委員会
- 20日 各常任委員協議会
議会改革推進特別委員会
総務常任委員勉強会
- 22日 議会運営委員会(オンライン)
- 26日 総務・建設経済常任委員協議会
議会運営委員会
- 27日 4月臨時会
本会議

5月

- 13日 議会改革全議員研修会
総務常任委員勉強会
- 26日 各常任委員協議会
民生常任委員勉強会
総務常任委員会管内視察
- 30日 議会運営委員会
議会改革推進特別委員会
- 31日 建設経済常任委員会行政視察
(~6/1)

6月

- 3日 6月定例会 (~6/16)

- 本会議
議会運営委員会
- 7日 本会議
- 8日 各常任委員会
総務・民生常任委員勉強会
- 9日 予算特別委員会
議会運営委員会
- 10日 議会改革全議員研修会
(オンライン)
- 13日 本会議
議会報編集委員会
- 14日 本会議
全議員勉強会
議会運営委員会
- 15日 本会議
- 16日 本会議
民生常任委員勉強会
- 23日 総務常任委員勉強会

政務活動費の公表について

政務活動費は、会派等を対象に、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として会派および会派に属しない議員1人に対し、月額2万5千円を交付しています。

政務活動費報告書は平成28年度分からホームページで公表しています。なお、当該年度分の報告書を翌年の5月末までに公表することとしています。公表する内容は、収支報告書、支出内訳書、領収書などです。

令和3年度政務活動費収支

令和3年4月～11月まで

(単位:円)

会派名	収入	支出
公成会	1,950,000	762,642
志友会	1,800,000	4,646
市政研究会	800,000	42,370
市民の会	600,000	64,088
共産党市議団	400,000	127,880
無会派	50,000	45,100

令和3年12月～令和4年3月まで

(単位:円)

会派名	収入	支出
新政会	900,000	350,716
志友会	600,000	461,048
市政研究会	300,000	21,214
共産党市議団	200,000	84,107
令和会	200,000	38,400
市民の会	200,000	32,871
無会派	100,000	0

詳しくは市ホームページをご覧ください。



令和4年第2回4月臨時会 審議結果一覧

議案番号	件名	結果
報第3号	専決事項の報告について（損害賠償の額の決定）	報告
報第4号	専決事項の報告について（酒田市税条例の一部改正）	承認
報第5号	専決事項の報告について（酒田市都市計画税条例の一部改正）	承認
議第43号	令和4年度酒田市一般会計補正予算（第2号）	可決
議第44号	酒田市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議第45号	物品の取得について（庁内ネットワーク設備機器）	可決

令和4年第3回6月定例会 審議結果一覧

議案番号	件名	結果
報第6号	令和3年度酒田市一般会計継続費繰越計算書の報告について	報告
報第7号	令和3年度酒田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告
報第8号	令和3年度酒田市駐車場事業特別会計継続費繰越計算書の報告について	報告
報第9号	専決事項の報告について（損害賠償の額の決定）	報告
報第10号	専決事項の報告について（消防庁舎及び総合防災センター整備事業に伴う外構工事請負契約の変更）	報告
議第46号	令和4年度酒田市一般会計補正予算（第3号）	可決
議第47号	酒田市税条例等の一部改正について	可決
議第48号	酒田市地方活力向上地域等における固定資産税の課税免除又は不均一課税に関する条例の一部改正について	可決
議第49号	酒田市議会議員及び酒田市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正について	可決
議第50号	酒田市介護保険条例の一部改正について	可決
議第51号	酒田市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議第52号	酒田市立酒田看護専門学校授業料等に関する条例の一部改正について	可決
議第53号	酒田市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決
議第54号	物品の取得について（業務用パソコン等）	可決
議第55号	建物及び物品の取得について（酒田市酒田駅前バス停留所及び酒田市酒田駅前交流拠点施設ミライニ広場等工事造成物）	可決
議第56号	物品の取得について（小型除雪車）	可決
議第57号	物品の取得について（除雪ドーザ）	可決
議第58号	酒田市道路線の認定について	可決

6月定例会で審議された請願・意見書

請願	受理番号	件名	請願者	結果
	請願第1号	令和4年度水田活用の直接支払交付金の見直しに関する請願	庄内みどり農業協同組合 代表理事組合長 田村久義 庄内みどり農協農政対策推進協議会 会長 田村久義 酒田市袖浦農業協同組合 代表理事組合長 五十嵐良弥 酒田市袖浦農協農政対策推進協議会 会長 五十嵐良弥	採択
意見書	議案番号	件名	宛先	結果
	議会第4号	令和4年度水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、 農林水産大臣	可決

スポット

スポットでは、酒田市議会からのお知らせを掲載しています。

皆さんの傍聴をお待ちしています。

本会議および予算特別委員会は、原則どなたでも傍聴することができます。

本会議を傍聴される場合は、市役所3階、議場の傍聴席入口前にある傍聴受付カードに住所・氏名を記入の上、受付箱に入れ、傍聴席に入場ください。団体で傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局へお問い合わせください。

各委員会も、原則どなたでも傍聴することができます。受付は、開会予定時刻の30分前から議会事務局で行います。各委員会の傍聴定員は5名です。受付順ですが、定員を超えた場合は、抽選などにより傍聴者を決定します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用や手指の消毒にご協力をお願いします。傍聴者やご家族に発熱などの症状が見られるときは傍聴できません。



6月定例会中の傍聴者数
個人10名、団体1 計35名

次回定例会のお知らせ (予定)

- 会期日程 9月12日～10月 3日
- 代表質疑 9月14日
- 常任委員会 9月22日
- 予算特別委員会 9月26日
- 決算特別委員会 9月15日～9月21日
- 一般質問 9月29日～10月 3日

※詳しい日程は、9月5日に開催予定の議会運営委員会で決まります。

9月定例会 9月2日(予定)

表紙写真説明

新山延年舞(新山神社例大祭)

●上演：毎年8月15日 午前10時～正午ごろ ●場所：酒田市檜橋字新山18
新山神社の始まりは807年、坂上田村麻呂の奥州征伐の折に開基した真言宗新光山最勝寺と伝えられています。明治以後、神社に改称し、鎌倉期に遡ると推定される延年舞が伝承され、奉納・上演されています。



地図

編集 後記

酒田市議会議員となり早8か月を迎えています。この間、諸先輩、議会事務局のご支援を賜り、五里霧中から少しずつではありますが、取り組むべきことも形として見え始めているところです。その1つが議会改革で取り上げている「対話による議会からの政策サイクルの実現」です。単に市民の代弁者として、議会で改善を求めるに留まらず、広く市民対話を実現し、議員間討議を活性化させていく中に、本市の抱える重要課題解決に向けた有効な対策が見つかるのではないかと感じているところです。

議会報編集委員会
委員 伊藤 欣哉

さかた市議会だより

発行/酒田市議会 議長/高橋 千代夫
酒田市本町二丁目2番45号
電話 (26)5770 FAX (26)5790 e-mail:gikai@city.sakata.lg.jp

詳しい議会日程や酒田市議会の様子はスマホからもご覧いただけます。



※市議会だよりに対するご質問などがありましたら、お気軽にお寄せください。